

第1回旧端出場水力発電所保存活用検討委員会議事録

日 時 平成23年1月27日(木)
13時50分～14時40分
場 所 マイントピア別子2階ロマネスク
出席者 10名(船越(副委員長)、佐々木、仙波、薦田、杉本(委員長)、土岐、吉川、田中
鴻上、沢田)
事務局 別子銅山文化遺産課 横井(課長)、加藤

加藤 会開催の前に、この会が公開で行われ、議事録も公開されることについて皆様のご承諾をお願いします。また、本日、愛媛新聞から傍聴に来られていることについて、お知らせします。

課長 ただ今から第1回の旧端出場水力発電所保存活用検討委員会を開催します。まず、この検討委員会の趣旨についてご説明いたします。資料の1ページ目をめくっていただくと 横向きの図があります。右側のカッコの中にはこの旧端出場水力発電所保存活用検討委員会ということで、皆さまご存じのとおり、昨年4月に住友共電様より明治45年完成という価値のある端出場水力発電所をいただきまして、土地については市が住友林業さんと賃貸借契約締結している状況です。現地でもご説明しましたとおり、アクセス路を設けることの検討のための周辺伐採を行ってきたところです。別子銅山産業遺産全体の観光面では東洋のマチュピチュとしての東平観光がそれまでの約7倍の6万人を超える観光客に来ていただいたとお聞きしております。文化財の面で申し上げますとマイントピア別子の中にも端出場鉄橋並びに隧道、泉寿亭特別室が2年前に登録有形文化財になりまして、去年、この端出場水力発電所本館が登録有形文化財の答申になっており、近く決定される運びになりまして、別子銅山産業遺産のいろいろな物件につきまして文化財的な価値、評価がある程度進んできたということで、また観光面との両面から、別子銅山の産業遺産が注目されていると我々も認識しております。本館につきましては非常に立派なレンガ造りの建物ですので、これの使用保存並びに活用については、いろいろな産業遺産がある中でも非常に秀麗なものであるという位置づけで、検討を進めていけたらと思っております。先ほどご覧いただいた図ですが、検討委員会と並行して、調査を進めていくということで、特に導水関係は共電さんからいただいた資料がありません。建物自体の資料は不足しているのかと思います。水圧鉄管を見せていただきましたが、そのような発電機を始めとする設備面についてもきちんと歴史的な評価、全体的な水力発電というものに対する評価も含めた調査を来年度から実施をしたい。これらについての報告を受けてぜひ次世代へ残していきたい。この検討委員会と並行して行っていきたいと考えております。検討委員会においては、先ほど申し上げた本館、設備、アクセス路の問題、観光全体での位置づけ、文化財全体での位置づけということが入ってくると思います。2回目からは、他の発電所でどのようにしているのか、具体的な資料で皆様に示すことができたらと思っております。平成9年度作成の新居浜市近代産業遺産・銅の道活用調査研究報告書でどのような物件が別子銅山産業遺産としてあるか、今

後どのように活用するのかをうたっており、同じような形式で活用モデル基本計画策定調査報告書が平成13年度に作成されています。これらを受けまして、平成15年に広瀬邸が重要文化財、先ほど申し上げた登録有形文化財が一部進んだということです。それから10年近くあるいは10年以上経過しましたので、今一度、この検討委員会での検討を踏まえたうえで別子銅山総合整備計画の中にもうたっていきたいと考えております。当検討委員会についての趣旨は以上のとおりです。ご質問等がございますか。何かありましたら、後からでもご質問していただけたらと思います。

次に議題2の委員の自己紹介をお願いいたします。お手元資料の名簿の上からの順番でお願いします。

船越 マイントピア別子専務の船越です。よろしくお願いいたします。私は18年後半にマイントピアへ着任いたしました。ちょうど4年半になりますが、着任した時には施設始まって以来、すべての数字が悪かったのですが、産業遺産観光に力を入れて少しづつお客さんが増えてきました。今季は東洋のマチュピチュを中心に観光坑道もリニューアルしましたので、たくさんのお客さんに来ていただきました。今年で20年になりますが、採光の収益がでるのではないかと考えております。20周年を記念して砂金採りもリニューアル計画を立てて4月オープンで進めております。多くのお客さんに来ていただくために努力しておりますのでよろしくお願いいたします。

佐々木 新居浜市観光協会の佐々木です。平成18年6月からお世話になっておりまして、約5年になります。最近、東平が東洋のマチュピチュということで脚光を浴びて、大阪、中四国から多数の訪問客があり、観光協会としても非常にうれしく思っております。今後共、マイントピア観光に助力したいと思います。よろしくお願いいたします。

仙波 新居浜商工会議所の仙波と申します。私共、会議所では平成19年度から新居浜検定を実施しております。昨年度からはマイントピア別子さんのボランティアガイド養成講座にも力を入れております。今人口が減っている状況で、交流人口増加が一番課題だと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

薦田 角野校区連合自治会副会長の薦田と申します。連合自治会も少し低調気味になっております。加入率の低下などいろいろと問題を抱えております。今、えんとつ山クラブでえんとつ山整備本部長という肩書でえんとつ山の整備を鋭意進めております。校区内の活性化が図れば良いなと思っております。皆さんと協力しながら進めております。また、一方、えんとつ山クラブとしましては、別子往還道を育てる会ということで、私もお手伝いをさせていただいております。できることを一つずつやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

杉本 杉本と申します。角野公民館長推薦となっておりますが、角野公民館でいろいろと雑用係をしております。よろしくお願いいたします。

土岐 住友共同電力の土岐と申します。端出場水力発電所を新居浜市さんに寄贈した時の共電側の窓口ということで、この会にも出させていただいております。非常に貴重な設備ですのでぜひ今後たくさんの皆さんに見ていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

吉川 吉川と申します。私は40年間ほど住友共電におりました。それから10年ほど建設

コンサルタントに勤めております。専門は土木でございます。住友共電では大半、水力発電所の建設とか、維持管理に従事しておりました。水力発電所には入れ込んでいる面があります。それから東平発電所がありますが、これについても建設当時から担当いたしておりまして、別子の山、特に旧別子は昭和34年頃からよく歩きました。端出場の発電所につきましては、東平発電所が昭和41年に完成しましてから、端出場発電所に本社勤務と兼務になりました。6年ほど机を置かしまして、端出場の発電所、東平の発電所の運転に従事いたしておりました。端出場の発電所が運転を止めた時にも現場におりましたし、水路の水を切りに行きましたし、最後のことをやったのは私でございます、非常に愛着を感じております。この設備はできまして100年でございます。これから100年、もっとになるかもしれませんが、後世に引き継ぐということで、一番年寄りかもしれませんが、少しでもお手伝いできればと思っております。よろしくお願いいたします。

田中 新居浜市企画部長の田中でございます。委員の皆様方にはいろいろな分野でお世話になっております。今回は端出場水力発電所の保存活用ということで、皆様と一っしょに、いい活用策ができればと思っておりますので、いろいろとご面倒をおかけすることがあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

鴻上 市役所運輸観光課長の鴻上でございます。ここにお集まりの皆様を始め、皆さまのお力添えによりまして、東平観光が脚光を浴びた1年かと思っております。私は去年の4月に現課に参りまして、まだまだ素人ではございますが、デマンドタクシーや祭りで新聞紙上を賑わせておりますが、いろいろとご指導いただけたらとおもっております。よろしくお願いいたします。

沢田 新居浜市教育委員会事務局体育文化課の沢田と申します。文化財の指定登録等の担当をしております。よろしくお願いいたします。

課長 事務局をいたします別子銅山文化遺産課の横井と申します。平成16年に当時、産業遺産活用室として、別子銅山の産業遺産についてどうするのかということについて、企画部内に置かしまして、それ以来携わっている訳で、今年で7年が経過しようとしております。とにかく、やる事がどんどん出てきて、楽しいということですが、端出場水力発電所はその中でも大事な部分だと思っております、皆様のご意見をお聞かせいただき、いいものになればと思っております。

加藤 別子銅山文化遺産課の加藤と申します。私は去年の4月からの勤務でございますが、私の曾祖父の代に旧別子で仕事をしていたということを知りまして、それから興味を持って仕事をさせていただいております。去年4月にいただいた水力発電所ですが、大変立派なものでこの1年間管理させていただいて、有効な活用方法はないかなと思っておりました。ぜひこの会で有益な活用方法が見つければいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

横井 続きまして委員長を選任をしたいと思っております。どなたかご意見はありませんか。事務局に任せていただけますか。事務局としましては杉本委員にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

加藤 副委員長の選任もお願いしたいのですが、どなたかお願いできますか。

横井 船越委員、副委員長をお願いできますか。よろしくお願いします。

委員長 改めまして、皆さん、こんにちは。私のような産業遺産に対しての素人が委員長ということで恐縮いたしております。まずもって、私は一市民として、別子銅山文化遺産課というものが新居浜市にできたということを非常にうれしく思いますし、また、このようなすばらしい産業遺産を保存活用していく、また、観光面にも、新居浜の活性化にも役立てていくという取り組みをされていることを頼もしく感じております。必ず、この別子銅山文化遺産課が事務局となって、多くの市民の皆様方、またその中の私共委員からということもありますが、大所高所から意見を聴取して、熟議をする中で、好ましい方向がでるのではないかと多に期待しております。私は非常に非力ではございますが、皆様方のご指導、ご協力によりまして、100年前に建設されたご意志、また、100年先の私共の後輩から畏敬の念を持って見つめられるような成案ができればすばらしいと考えております。皆様方のご指導を重ねてお願い申しあげましてご挨拶といたします。よろしくお願いします。

次に副委員長さん、ご挨拶をお願いします。

船越 私はここに来まして、とにかく魅力ある施設にしようということで、一生懸命に取り組んで参りました。今回副委員長ということで魅力ある新居浜を作るために一生懸命に頑張ってお参りますのでよろしくお願いします。

委員長 今後の進め方につきまして、事務局から説明をお願いします。

横井 市としましては全くニュートラルな状態です。過去には、マイントピア別子ができた時に端出場水力発電所をどうするのかという議題が持ち上がっておりまして、当時、積極的に使う方向で共電さんとの話が進んだということは聞いております。活用案でビール園や喫茶店という話もあったようです。産業遺産という言葉もなかった時代のことで、今の時代に適した保存活用方法があると思います。次回には、他の発電所、重要文化財になっている発電所もございます。特に西日本には重文になっている発電所はなかったはずで、そういうことも含めまして、発電所の歴史的な価値、現在の状態、他の発電所の使われ方も資料説明させていただき、今後の活用方法のヒントにさせていただいたと思っております。それと大きなのはアクセス路の問題です。以前にはアクセス路として橋を架けるといふ案もございまして、それと県道から降りてくる道もありますが、このマイントピア別子との関係も含めて検討いただけたらと思っております。それと本館の管理体制も必要になってくると思っております。気になっているのが入口付近にあります水車です。これは白石善二郎初代市長が関わった東予製氷株式会社がなくなる時に、水車を残してくださいと、立ち退きの条件であったとお聞きしております。これでそこに水車を持ってきて景観を損なわないような端出場水力発電所に似たレンガ造りの建物を建てたとお聞きしております。せっかく建ててありますので、どういう活用ができるのか、合わせてご検討いただけたらと思っております。以上です。

委員長 今のところは具体的なことになっていないとのことですが、皆様方から、参考的なことで結構ですので、思いつくままに意見をいただけたらと思っております。

土岐 元の東予製氷会社の水車ですが、インターネットで見ると誤解されているようで、紛らわしいので、建物は何か利用できたらと思っておりますが、水車は例えばマイントピアさ

んで別の利用ができないかと思います。発電所にあると紛らわしいかと思います。

課長 検討委員会の意見としていただければ先ほどの計画の中に活かしたいと思います。

薦田 水車というのは飾っているだけですか。

課長 使っていたものを飾っているのです。水車自体は産業遺産ではありますが、東予製氷会社で氷を作るために使っていた。

吉川 あれは回るのですか。

課長 据えて置いてあるだけです。

委員長 珍しくて、なかなかないものということで展示しようかということになったのですね。撤去することになって展示してほしいということがあったのですか。

課長 そのようにお聞きしております。

薦田 誉二郎さんゆかりものは大事にしたいと思います。撤去するのもいいが、喫茶店をそこでするにしても、ソーラー発電でもして、ゆっくりでもモーターで回したらと思います。逆に使う方で考えてみてはどうかと思います。

吉川 産業遺産ということで、これから末永く生きていく中で、オリジナルで本物を残すという考え方が基本になると思います。観光で活かすということでは別の考え方もあるかもしれません。意見も分かれてくるかもしれません。私としてはおかしな手を加えてほしくないというのが基本的な考え方です。極端な考え方では、きれいにしようとか、ペンキを塗ろうではないかとかいう話になりかねないかと思いますので、最初に1点だけ申し上げます。

船越 登録有形文化財になるようですが、何か規制はありますか。

課長 登録有形文化財はほとんど規制がありません。

沢田 全体の3分の1以上の改築でない限り、届け出は不要となっています。

(記録機器の不具合のため、以下要約。)

船越 来場するために索道でロープウェーのようにしてはどうか。

吉川 バックデータの研究が必要。今後のタイムスケジュールを示してほしい。

課長 2月末までに次回検討委員会を開催したい。

委員長 開催の10日前までには各委員に資料を届けてもらいたい。